

## 02 不動産利活用

---

### 基本情報



【年 齢】  
30歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
シェアハウス管理運営  
【活動時期】  
R4.4～ R7.3  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

転職先を探し始めていて、偶然、倶知安町の地域おこし協力隊の募集を目にしたのがきっかけです。

いつかは北海道の田舎に移住したい！と思っていましたが、仕事が決まらずに移住するのはハードルが高く、踏み切れずにいました。

また、人々の暮らしに深く関わる「住まい」の仕事に携われることが応募の決め手となりました。

### 今後の抱負・任期後の目標

着任して半年が経ちましたが、活動の方向性を検討しながら、できることから一つずつ進めています。3年の任期中に少しでも形が見えてくると良いなと思っています。

また、山が近くて自然が沢山の倶知安町がとても気に入ったので、任期後は、なんとか仕事を見つけて定住する事が目標です。

### 活動内容

#### ●住まいの相談窓口の開設

持ち家のリフォームや住み替えなど住まいに関する悩みを相談できる窓口を開設しました。

住まいに関する悩みは人それぞれ、誰しもが持っているのではないのでしょうか。倶知安町はスキリゾートで有名な豪雪地帯ですが、雪の処理は暮らしていく上で欠かせない課題です。特に高齢になるとその負担は大きくなり、住み替えを検討される方もいます。

どこに相談したらよいのか分からない、という町民の方が「とりあえず話に行ってみよう」と思えるような窓口を目指しています。



#### ●住まいに関する情報の収集と発信

町民さんや不動産業者さんなど色々な人にお話をお伺いし、課題やニーズの調査を進めています。

また、相談にきてくれる方に適切にアドバイスができるように、住宅に関する法律や制度など情報の収集に努めています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) [sousei@town.kutchan.lg.jp](mailto:sousei@town.kutchan.lg.jp)

(電話番号) 0136-56-8001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town\\_administration/matidukuri/4376/](https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/matidukuri/4376/)

### 基本情報



【年 齢】  
21歳  
【出身地】  
岩手県金ケ崎町  
【転出元】  
千葉県千葉市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R3.10～ R6.9 (予定)  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

就職を機に金ケ崎町をはなれましたが、帰省するたびに人や場所の温かさ、素晴らしさを感じると同時に、この素晴らしさを守っていく人がいるのか、町民にこの魅力が伝わっているのか疑問に感じました。

若い人が地域のことを知り、楽しくまちづくりに取り組んで、まちを盛り上げていけるようにしたいと思い、協力隊に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

令和4年9月に空き家の改修が終わり、シェアスペースの運用を開始しました。「日本一ワクワクする町」を目指し、若者をはじめ、チャレンジしたい人に気軽に、いろいろな用途に使っていただけるよう、出店者の発掘、情報発信の支援を行っていきます。そのほか、自主企画イベント等も開催し、多くの人に町の魅力を知っていただける機会を作っていきたいと考えています。

任期終了後は、シェアスペースの運営のほか、自分のスキルを活かして起業したいと考えています。

### 活動内容

#### ●エリアリノベーションの推進（協力隊の拠点LifeBASEの運営）

二日町地区の資源を活用したエリアリノベーションの取組みのひとつとして、令和3年11月から、自分たちの手で空き家を改修し、飲食の提供が可能なシェアキッチン、シェアスペースをオープンさせました。この拠点の運用を通じて、いろいろな人の「やってみたい」の実現をサポートしています。

また、二日町地区をはじめ、町の魅力的なものを多くの方に実際に体験していただくためのイベント開催を通じ、交流人口、関係人口の拡大に取り組んでいます。



▲空き家改修作業の様子



▲改修後のシェアキッチン



▲オープンイベントの様子

#### ●町の魅力情報の発信

金ケ崎町の人やもの、場所、各種制度等についてInstagramやYouTube等のSNSを通じて情報発信を行っています。さまざまな分野で活躍する人の紹介では、その人の取組みにかける想いにフォーカスして、動画やラジオなど、各種媒体で発信をしています。



Instagramでの投稿▶

### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram <https://instagram.com/life.0502>

### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
大阪府堺市  
【転出元】  
大阪府高槻市  
【前職】  
設計事務所勤務  
(一級建築士)  
【活動時期】  
R4.10～ R7.9  
(1年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大阪で生まれ育ってきましたが、自然に囲まれた生活をしたと思うようになり、いつか地方移住をしようと考えていました。地域おこし協力隊の制度を知り様々な自治体を検索していたところ、寒河江市はこれまでの自分の経験や働き方とマッチすると感じたので応募に至りました。着任後にお米や味噌、醤油を支給いただけることも魅力に感じました。

### 今後の抱負・任期後の目標

建築やデザイン、ブランディングの経験を活かし、寒河江の魅力を発掘・発信していきたいと考えています。中心市街地の活性化や地域資源の活用がミッションです。特に、寒河江では新築の住居が増える一方、空き家も増加しており、古民家の価値を上げていく活動をしていきたいです。また、寒河江にはふらっと立ち寄れるカフェが少ないことも感じているので、古民家を使ったカフェの企画にも挑戦していきたいと思います。

### 活動内容

#### ●中心市街地店舗の活用

寒河江市の中心部に位置する「フローラ・SAGAE」は商業施設でありながらも民間店舗の誘致が成り立たず、空きスペースが多くなっている状況です。地域の方々がその施設に立ち寄る目的を再検討し、中心市街地の活性化に繋がる事業計画を策定中です。



#### ●空き家の活用

寒河江市内に残る歴史的建造物や古民家を活用すべく、現在は市外の空き家活用事例の視察や、市内の空き家の見学を重ね、「どの場所でどう活用し、そこで何をするのか」の検討をしている段階です。



#### ●イベントの運営

地域のNPO法人にも所属しており、寒河江市内でのイベントの運営等に携わっています。10月初旬に開催されたコスモス祭りの運営にも関わらせていただきました。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram : @aka.ni



## 基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
神奈川県 川崎市  
【転出元】  
神奈川県 川崎市  
【前職】  
ドライブインストラクター  
【活動時期】  
R1.5～R5.3.31

## 協力隊に応募したきっかけ

拠点を用いた観光に関する活動と地方での地域活性の両立をやりたいと思ったのが応募したきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

応募したきっかけにも触れていますが、拠点を用いての地域活性と地域観光を目指しており、空き家を1人DIYでDIY未経験で素人改修作業を行っております。今後民泊として運営を行い、それを元に定住する前提で事業を進めており、民泊予定地が霞ヶ浦という大きな湖が拡がり、それらを活用した事業や都市部からの観光者誘致など、地域で可能なビジネスモデルを構築し地域の発展と活性化に一役買えればと思っております。

## 活動内容

## ●拠点を用いた空き家の改修事業

地域活性と地域観光の拠点として、2年目より長期空き家になっていた家の改修作業を行っております。一通りの改修作業が終わりましたが、修理箇所などが増えて、それに対処している状況下ではありますが、現在は民泊の営業許可取得に向けて準備をしています。



## ●地域のイベントや観光や魅力などの情報発信

茨城県稲敷市という都市を少しでも知ってもらうために市内やその周辺自治体各所へ趣き、スポット発信などを行っております。



## ●「市民とのボランティア活動」

同市で活動する市民と一緒に色々な活動を行っております。その中の一つとして、地域に住む外国人を対象に日本語を教える活動を代表者と一緒に活動しております。今後、拠点が活用できるようになったら、こちらでもこのような活動を行う予定です。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】要相談

(メールアドレス) nonbiri.guesthouse@gmail.com (店)

【活動の様子を発信しているSNS】

(Facebook) <https://www.facebook.com/seya.isamu.9/>

(インスタグラム) <https://www.instagram.com/isamu.inashiki/>

## 基本情報



【年齢】  
40歳  
【出身地】  
東京都 豊島区  
【転出元】  
茨城県 稲敷市  
【前職】  
英会話講師  
【活動時期】  
R1.8～ R5.3,31

## 協力隊に応募したきっかけ

東京で起業すると初期費用が高く、海外では書類関連が難しいと考えていたところ、日本の地域おこし協力隊の制度を知り、いくつかの自治体を実際に訪問。最終的に、空き家の多さ、外国人woofersを受け入れている農家があった点、実家の都内からの近さ、自由度の高い活動である稲敷市の地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

引き続き農家民宿ゲストハウスを運営していきながら、地域活性や情報発信をし、3方よしになるよう収益化を図っていきます。他の空き家を希望者に紹介したり、引き続きインバウンドにも取り組んでいきます。任期後、収益を確立し、経営を安定化させることができれば、難民受け入れ、国際交流、お米の活用にも取り組んでいきたいとは考えていますが、まずはの目標は、任期終了後の宿の継続です。

## 活動内容

## 【空き家から農家民宿ゲストハウスへ】

空き家を1年かけてDIYでリノベーションし、農家民宿ゲストハウスINASHIKI NESTを開業。現在OTA掲載及びADDRESSに掲載し、関係人口の創出と収益化に取り組んでいます。映画撮影の場所にもなりました。



## 【地域情報及び活動の国内外へ発信】

英語と日本語でWEBサイトを制作。またSNS(Twitter,instagram,youtube)で経営している宿についてや地域の情報などを国内外に発信しています。



## 【ご近所ホッピングと農ある暮らしの実践】

宿の前の耕作放棄地であった畑を活用して野菜やハーブを育て、滞在されるゲストに農ある暮らしの体験や新鮮な野菜を提供しています。地域での体験として、ゲストをご近所の畑やアーティストのところに案内しています。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://inashikinest.com/> [madamfujiko.com](https://madamfujiko.com)



### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
群馬県渋川市  
【転出元】  
東京都杉並区  
【前職】  
営業職  
【活動時期】  
R4. 1～

### 協力隊に応募したきっかけ

廃校となってしまった出身小学校をなにか活用できないかと市役所へ話を伺いに訪問したところ学校の貸し出しは難しいが空き家活用からスタートしてみても？と提案をいただいたのがきっかけです。そこから自分で色々調べたりしていたところで空き家活用をテーマとした協力隊の募集を見つけ応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

活用可能な空き家の掘り起こしを継続するとともに、住む目的以外に活用が可能な空き家を確保することが目標です。事業者が増えることで関係人口であったり、移住者も増加するはずなので既存の事業者はもちろん、創業希望者が開業しやすいような環境を用意することを退任後含め頑張りたいと思います。

### 活動内容

#### ●空き家の紹介

ユーチューブにて360度カメラで撮影した動画を投稿しています。他にも雑誌やSNSにて公開可能な物件の紹介を行っております。



#### ●イベント等の開催

敷島駅前にてイベントの実行委員会として参加しております。廃れてしまった駅前商店街の空地で屋台村を実施し、創業希望者等に対して本地域でもたくさんの方が来ることを数字として見てもらえるようになることと、地域住民の交流が目的となります。



#### ●相談者の対応等

月に1度の空き家相談会への出席や個別に連絡いただいた方への対応を行っております。現在では空き家を活用したい方からの相談が多いです。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram



HAYATO.SHIBUKAWA



### 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
東京都 目黒区  
【転出元】  
東京都 北区  
【前 職】  
神奈川大学 大学院  
工学研究科 建築学専攻  
【活動時期】  
R2.7~R5.6

### 協力隊に応募したきっかけ

神奈川大学大学院の卒業制作で、魚津中央通り商店街にある空き店舗1階を多目的スペースへ改修するために魚津市と大学を約半年間行き来し、研究作業を行いました。その際に魚津市出身で同じ大学院研究室の卒業生の方から地域おこし協力隊制度を教えていただき、今まで行っていた活動や知識が、まちの問題解決に役立てることができると思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

商店街を中心に空き家対策としてテナント入居や居住者を増やすことが命題です。対象エリアの空き家、店舗と物件所有者の今後の不動産活用について意思確認をしています。タナノナカミセで物件管理依頼やテナント入居希望者へ紹介できるように仲介役・物件情報を整理していくことが今後の活動につながるのではないかと考えています。

### 活動内容

#### ●ナカミセバンク（空き家・店舗情報 調査、整理）

商店街エリアの空き家・空き店舗の状況を把握し、物件所有者にコンタクトを取り、意向調査を行っています。

タナノナカミセHPに物件情報などを掲載し、入居希望者へのアテンドやマッチングを行っています。



#### ●魚津防火建築帯FES

魚津中央通り商店街を舞台に空き家や歩道、駐車場を利用し、マルシェ・フリマイベントを開催しています。2022年11月で3回目の開催となります。このイベントでは、10年後の1日を前借りするように現在空き店舗の空間に1日限りの商いを行ってもらうことにより出店者、来場者の方にテナント募集広告を仕掛けています。



#### ●タナノナカミセ 企画・運営

市内の設計事務所、工務店、商店街店主などとまちを盛り上げていくために月2,3回新たな事業計画やイベントの企画などについて打合せ会議を行っています。上記2項目の活動も協力し進めています。また、商店街の空き店舗を利活用しタナノナカミセというコミュニティスペースでの案内役を担っています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス)  
n093w0ta@icloud.com



### 基本情報



【年齢】  
28歳  
【出身地】  
福岡県福岡市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
大学院生  
【活動時期】  
R2.8～ R6.3  
(3年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

大野市と関西大学がまちづくりに関する連携協定を結んだきっかけで、隊員になる前から大野に来ました。それ以降、空き家を改修した活動拠点「横町スタジオ」で地域のにぎわい作りの活動を続けてきました。

大学院の卒業に合わせて設計事務所に就職することを考えていましたが、そんななか、大野市が空き家対策をテーマに地域おこし協力隊を募集していると知り、「空き家で暮らしてきた経験や、大学で学んだ建築の知識を活かした活動ができるのでは」と考えて応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

空き家の情報を広く市民の皆さんに周知する空き家情報誌「あきやたより」の発行を月に一度行なっています。また、あきやたよりを通じて空き家という複雑な事象を細かく砕いて解説等をする中で、本質的な課題を発見し、活動の足がかりを作ることもこの事業の目的です。次のステップは、建築のスキルを活かして、空き家活用のモデル事業を展開したいと考えています。それだけでなく、ワークショップ等、市民を巻き込んだ計画へ波及していくことにも期待しています。

### 活動内容

#### ●あきやたよりの発行

空き家の管理方法や空き家情報バンクへの登録の呼びかけ、各種支援制度の紹介、空き家利活用に取り組む人の紹介など、空き家に関する様々な情報を提供し、空き家の所有者や市民の意識啓発を目的に、隊員が取材し作成する「あきやたより」を発行しています。



#### ●空き家利活用ワークショップの開催

隊員の出身校である関西大学と福井工業大学の建築学部の学生によるワークショップを開催し、現在の社会課題である大野市の空き家に触れ、人と繋がり、街と交わる中で空き家を活用する価値を学びながら、新たな魅力の創出を図ります。



#### ●ソーシャルコンポストを活用した「楽しい循環」の構築とその情報発信

福井県敦賀市の地域おこし協力力隊 西山隊員との連携事業。敦賀市博物館通りで、ソーシャルコンポストの理解促進に向けたワークショップイベントを開催。その模様を冊子にまとめ、情報発信も行います。



### 連絡先

### 基本情報



【年齢】  
30歳  
【出身地】  
大阪府大阪市  
【転出元】  
奈良県奈良市  
【前職】  
バリスタ  
【活動時期】  
R4.5～

### 協力隊に応募したきっかけ

都会ではなく、地域での暮らしに関心があったこと。地域コミュニティにコミットしやすい形でまちづくりに関わりたいと思ったこと。自分のスキルを生かしながら仕事ができる業種であったことを理由に、地域おこし協力隊という仕事に興味を持ちました。既に活動をしている友人に話を聞いたり、様々な地域に出向いたりし、地域おこし協力隊でもそれぞれの自治体などで内容も異なることを知りました。調べているなかで一番ご縁を感じた韮崎市に移住をしたいと思い、今に至ります。

### 今後の抱負・任期後の目標

現在一年目ではありますが、この約半年の間にさまざまなイベントなどを重ね、地域の人と接する機会も多く持つことができました。今後は、自分の退職後も地域が持続的に活発な活動やイベントを打ち出せるように、街の人が主体的に街に関われるような仕組みづくりをしていきたいと考えております。任期後は周辺地域に定住し（拠点を持ち）、本職であったコーヒーや、過去に仕事にしていた本や写真をきっかけに、地域の情報発信やイベントなどを個人的にも活動のひとつとして継続していきたいと思っております。

### 活動内容

#### ●駅横情報掲示板の利活用

駅横に情報掲示板というコミュニティスペースが設けられていますが、まだまだ認知が少なく、地域の人々が活用するには難しいようでした。着任してからまずはじめに、この街の歴史を調べ、地域のことを皆さんにも知って貰えるような展示会を開催。利活用の実績としても、今後の手本となれば幸いです。



#### ●左官ワークショップ

韮崎市に新しくできるお店（ピザ屋）の壁の左官をみんなで一緒に体験するワークショップを開催。地域の人と一緒にすることで、お店に愛着を持ってもらいたい。そして空き家対策の一環としてリノベーションを推進するなか、自分たちでDIYをする楽しさを共有していきたいという意図のもと行いました。



#### ●家財持ち出し大作戦

恵比寿屋という古くから街の人に愛されてきたビルを新しくリノベーションすることに。施工が始まる前に、ビルのなかにあった荷物などをみんなで掃除しながら、好きなものは持ち帰ってもらうという企画。地域のご老人から若い学生まで、このビルの思い出と一緒に、次世代へ繋ぐイベントとなりました。



### 連絡先

### 基本情報



【年 齢】  
20歳  
【出身地】  
大阪府岸和田市  
【転出元】  
山梨県韮崎市  
【前 職】  
アパレル・ゲストハウス  
【活動時期】  
R4.8～

### 協力隊に応募したきっかけ

社会問題として少子高齢化や限界集落に携わる仕事を探していたのがきっかけで、学生時代にコロナ禍でのリモート学習の中で人々とのつながりの大切さに気づき中退を決意し単身で実際に足を運んでいたときにアメリカヤに配属している協力隊員からの紹介で就任しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負では、古民家の空き家を活用して老若男女が交流できる場を整える手伝い。任期後の目標は、心に傷を負った人たちが安心して未来を創るような民泊・サロン・事務所が完備した拠点を作り、地方と都会を繋ぐ事業。古民家の空き家を活用して、大人でも子供のように楽しめる居場所づくり。

### 活動内容

#### ●DIYによるまちづくり

アメリカヤ2Fにて地域の方々のくらしづくりを支援。



#### ●ギャラリー企画

韮崎市の玄関にも関わらず活かし切れていなかった韮崎駅ナカギャラリーをお借りして、学生さんや若い方々から見える韮崎の魅力を実際にみられる展示企画。若者アーティストによるまちづくり。



#### ●空き家調査

アメリカヤビルから広がる中央町通や本町通周辺で空き家調査。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram  
@DIY\_SERVICE\_CENTER @NASHIO\_KURUTO @AMERICAYA1967



### 基本情報



【年齢】  
27歳  
【出身地】  
東京都東村山市  
【転出元】  
東京都中野区  
【前職】  
学生  
【活動時期】  
R3.4～ R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

東京で生まれ育ち25年が経った節目に、自分のいる環境を一度大きく変えたいと思いました。とはいえ、いきなり遠く離れた地へ行く度胸はない私は、東京からさほど離れていない山梨県に魅力を感じました。度々旅行で訪れていた山梨県の景色と空気が好きでした。インターネットで仕事の情報を収集すると韮崎市がヒットして、そこで地域おこし協力隊という制度を初めて知りました。地方へ移り住み、その地域に貢献できる仕事ができることが素敵だと思い、韮崎市の地域おこし協力隊に応募させていただきました。

### 今後の抱負・任期後の目標

まず2年間はここで空き家バンク業務を全うしようと考えている。そして3年目の任期最終年となる来年度は、もちろん空き家バンク業務をやりつつも、韮崎市での1年半の移住生活を経て見つけた自分の好きなこと・やってみたいことにも力を注いでいきたい。  
空き家の仕事をしているからと言って、この先もずっと空き家や不動産に関連した仕事をするつもりはない。地域おこし協力隊の活動と移住生活の経験から得た「なんでもチャレンジできる」という自信を大切にしたい。

### 活動内容

#### ●空き家バンク登録・内覧のための現地立ち会い

空き家バンクに登録希望の物件の現地確認を、所有者・宅建業者とともに行う。補修が必要な箇所や程度、周辺環境や眺望などを確認し、物件としてのアピールポイントを考える。それを利用希望者へ、問い合わせがあったときや、内覧に同行した際にお伝えする。



#### ●不動産所有者セミナー・個別相談会の実施

空き家バンク登録促進に向けて、今年度から所有者を対象に毎月個別の相談会を実施した。9月には宅建協会より講師を招き、空き家所有のメリット・デメリットなどについて講演していただいた。このような講演を聞くことで自身の空き家問題がより身近なものになり、空き家解消につながっていくと思う。



#### ●空き家バンク補助金の事務処理

空き家バンクは所有者・成約者どちらにも補助金や奨励金があるので、登録件数と成約件数が増えると補助金の交付処理の作業も増える。  
用意してもらう書類や記入してもらう書類が何種類もあるので、不備のないよう、補助金利用者との密なやりとりが必要。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
MAIL : yusuke.moriyama@city.nirasaki.lg.jp  
TEL : 0551-22-1111 (内線359)

### 基本情報



【年齢】  
41歳  
【出身地】  
沖縄県 沖縄市  
【転出元】  
大阪府 豊中市  
【前職】  
国家公務員  
(国土交通省大阪航空局)  
【活動時期】  
R4.4~

### 協力隊に応募したきっかけ

プライベートで神社参拝のために訪れた和歌山県（紀南地区）の自然の豊かさや美しさに心打たれ、この地域へ定住したいと考えるようになったときに、みなべ町の地域おこし協力隊の募集があることを知ったことがきっかけ。

### 今後の抱負・任期後の目標

空き家利活用や移住促進の活動について、協力隊の活動後も役場職員や地域関係者の負担を抑えながら最大の効果が発揮できる枠組みや活動記録を残せることを目標にして、日々の業務に取り組んでいきたい。

任期後は、みなべ町に定住できるように起業や就職活動を頑張りたい。

### 活動内容

#### ● 空き家の利活用に向けた活動

空き家の所有者、地域住民及び移住希望者等に向けた広報や県の空き家バンク等に関する相談窓口・現地案内業務。



#### ● 移住・定住促進のための活動

東京や大阪等で行われる移住相談会において自身の移住経験や移住補助制度等を移住希望者あてに説明する活動。



#### ● 退任後の定住に向けての活動

持続可能な地域に寄与しながら、自身が定住するための仕事を発掘や継業するための調査や試行等を実施する活動。（写真は梅収穫体験）



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [chiikiokoshi@town.minabe.lg.jp](mailto:chiikiokoshi@town.minabe.lg.jp)  
(電話番号) 0739-72-1337

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
特になし

### 基本情報



【年齢】  
26歳  
【出身地】  
兵庫県姫路市  
【転出元】  
兵庫県姫路市  
【前職】  
不動産企業勤務  
【活動時期】  
R4.7～

### 協力隊に応募したきっかけ

学生の頃からまちづくりに興味があり、地域により深く関わりたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。また、瀬戸内の気候風土が特に気に入っており、将来的には瀬戸内で自身で事業を始めたいとも思っていたため、香川県さぬき市で飲食店の運営を経験できる活動に応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

1年目の任期中に空き家を改修し、飲食店を開業させ、2年目が終わるころには、店舗を安定稼働させたいです。3年目には、まちの人を巻き込んだイベントを開催し、地元の人に愛着を持っていただけるお店としたいと考えています。また、地域の魅力を高めつつ発信していき、香川県さぬき市に移住したいという人を増やし、自らが事業を始めたモデルケースとなり、今後事業を始める人のバックアップが出来るコネクションを手に入れたいと思っています。

### 活動内容

#### ● 空き家の改修

空き家となっていた旧漁業倉庫をDIYによって改修し、飲食店として使えるように整備しています。



#### ● 飲食店運営に向けた研修

イタリア料理店、ブックカフェにおいて、ピザの作成技術、飲食店運営のノウハウを勉強しています。



#### ● 地元まちづくり団体での活動

受け入れ団体である一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会の会議に参加させていただき、津田地区のまちづくりについて検討しています。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [porto\\_pizza@sanuki-tsuda.jp](mailto:porto_pizza@sanuki-tsuda.jp)  
(電話番号) 087-894-1112 (さぬき市役所 政策課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram)  
[https://www.instagram.com/portopizza\\_tsuda/](https://www.instagram.com/portopizza_tsuda/)



PORTOPIZZA.TSUDA



### 基本情報



【年 齢】  
31歳  
【出身地】  
熊本県宇土市  
【転出元】  
熊本県熊本市  
【前 職】  
建築意匠設計  
【活動時期】  
R1.7～  
(3年目)  
※途中育児休暇取得

### 協力隊に応募したきっかけ

前職で得た建築物のリノベーション手法を生かして、地元で眠る空き家を活用し、まちを活性化したいと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

再生空き家で子ども向けワークショップなどを企画し、プログラミング教室や、eスポーツイベント、また工作や実験などの体験ができる、遊べる学び舎として運営していきます。協力隊卒業後は「空き家を学び舎に」をコンセプトに、教育コンテンツを入れた空き家活用の事業に取り組んでいきたいです。

### 活動内容

#### ●空き家リノベーション事業

令和3年度に旧商店の空き家を4か月かけてセルフリノベーションさせました。リノベーション後は、地域の方へのお披露目そして熊本県地域おこし協力隊の研修会場としても利用しました。



#### ●子育て世代交流の場としての空き家活用

令和4年度からはリノベーションした空き家を子育て世代交流の場として活用しています。毎週木曜日に親子サロンを開設、また、毎月第3木曜日にはヨガ体験会とお茶会を開催。0歳から3歳の子を持つ母親同士の交流の場になっています。



#### ●子どもの学び場としての空き家活用

令和4年度からはリノベーションした空き家で子ども向け（主に小学生）学びのイベントを実施。子どもの学び場として空き家を活用しています。4月には県外から講師を招き、科学実験教室を開催。11月からは隔週土曜日に工作イベントを開催予定。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号）0964-22-1111(宇土市役所代表)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

Facebook:<https://www.facebook.com/uto.okoshi>

Instagram:<https://www.instagram.com/ureactivation>

## 基本情報



【年 齢】  
41歳  
【出身地】  
兵庫県尼崎市  
【転出元】  
兵庫県尼崎市  
【前 職】  
広告制作進行管理デスク  
【活動時期】  
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

兵庫で育ち、仕事で上京。結婚して数年後、兵庫へUターンしたものの、両親の宮崎移住(母はUターン父はIターン)の決意を聞いたことがきっかけで地方に関心を持つ。夫の出身地である東京、自身の出身地である兵庫、その他で悩んだ末、都会以外に本格的に目を向ける。海の近く・南国の雰囲気にも憧れもあり、徐々にエリアを絞って仕事を探していたところ、地域おこし協力隊の制度を知る。その制度の活動内容を知っていく中で、観光や町おこしの仕事に興味を持ち、公私様々な要望の詰まった町が門川町であった。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中：空き家バンクの認知度向上、登録件数UP。  
空き家に関する知識を蓄積し、引き出しを増やす。  
まちづくり研究会や観光協会のイベントなど地域活動への参加を増やし、更に町と人を知る。  
町外の取り組みや状況を知るため各地視察へ行く。  
任期後：起業し、空き家相談・移住相談の委託を目指す。  
町内外の人たちが集まれる居場所を作れたらと検討中。

## 活動内容

## ●空き家等情報バンク運営

着任当初、物件登録実績3件だった空き家等情報バンク。全国版(2社)の掲載開始、利用登録の提案、区長アンケート・所有者アンケート、固定資産税納税通知書へのチラシ同封を実施し、着任後の物件登録27件、利用登録22件となっている。(R4.10末時点)不動産知識向上のため宅地建物取引士試験を受験。



## ●移住・定住促進

移住フェアに参加し相談を受けるとともに、空き家探し相談の中で移住に関わる相談も受ける。定住については、町内居住者に地域に定住(永住)していただくことも重要と捉え、移住者向けであった空き家バンクの利用について、町内居住者も可となるよう変更。現在は町内からの問い合わせも多数ある。



## ●地域活動

まちづくり研究会という役場職員有志グループに所属しイベントを企画・運営。その他、地域活性化についての活動を行っている。(写真はプロギングというゴミ拾いのアクティビティイベント)観光協会主催や商店会主催のイベントなどにもスタッフとして参加している。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://www.instagram.com/kado.ijyu/>  
(Facebook) <https://www.facebook.com/kado.ijyu>